

第 1 回広陵町総合計画審議会部会 実施概要

■開催日時

令和 3 年 10 月 25 日（月）午後 4 時 00 分から午後 6 時 15 分まで

■会議場所

広陵町総合保健福祉会館 4 階 大会議室

■出席者

<委員>

清水委員、西川委員、松村委員、新谷委員、中村委員、山本委員、岩脇委員、谷口委員、徳田委員

* 欠席委員なし

<事務局>

山村町長、奥田企画部長、芝企画政策課長、植村企画政策課係長、芦原企画政策課担当

■主な議題

1 部会長及び副部会長の選出

会 長：畿央大学 健康科学部 准教授 清水 裕子

副会長：広陵町農業委員会 会長 松村 和親

2 第 5 次広陵町総合計画（重点プロジェクト（基本目標 1）素案について

■主な意見

第 5 次広陵町総合計画（重点プロジェクト（基本目標 1）素案について

（1）重点プロジェクトの進捗管理

- K P I については達成しやすい目標を掲げるのではなく、ある程度頑張らなければ達成できない指標を設定すべきである。

（2）基本目標別の施策

① P 5 基本的方向 2 子育て世代の転入促進・子育て環境の整備

- こども園・保育園の充実施策に関しては、ハード面の K P I が設定されている。他の施策と同様に住民満足度についても検証してはどうか。
- <具体的な取組>の 8 つ目の人材に関する記載内容がわかりにくい。
- 保育の担い手を増やしていくための具体的な施策を掲げる必要があるのではないか。
- 保育士などの指導者の人材不足は深刻であり、人材確保に関する指標も必要ではないか。

②P7 基本的方向性3 町の将来の担い手の育成

- 中小事業者の事業継承が課題となっている。将来の産業の担い手を確保するために、小中学校で地場の事業者と触れ合える機会があってもよいのではないか。
- お祭りなどの世代間交流が継承されている地域において、お祭り等の行事を題材に何らかの取組ができないか。
- 農業は少子高齢化により集落の維持自体が難しい。将来的に町内出身の就農者を増やすためにも、子どものうちに土に親しむ教育を取り入れてはどうか。

—以 上—